

2020年～2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く



土浦ミュージアムコレクション No22
力士の埴輪（古墳時代 6世紀）

膨らんだ腹や腰のふんどしは、力士の特徴を捉えています。土俵入のポーズでしょう。古墳時代の力士は、鎮魂や悪霊退散などの祭祀にかかわる存在であったと思われます。
〈上高津貝塚ふるさと歴史の広場蔵〉

2020～21年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏

12月は疾病予防と治療月間です。

2020～2021年度(第63期 飯山年度)

12月第1例会プログラム

12月24日(第3039回) VOL. 19

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 年次総会
- 誕生祝・入会記念祝・結婚記念祝
- ミニ卓話「土浦のコロナ事情」
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 親睦活動委員会
- 鈴木敏之会員
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F)

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 飯山 孝之 幹事 關本 淳一

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

卓話「茨城県の医療状況と今後の課題 —茨城県立医療大学の役割—」

茨城県立医療大学学長 松村 明 様



茨城県は医師をはじめとする医療職が不足している県である。茨城県立医療大学は 1995 年に創立された県内唯一の公立大学であり、看護師・理学療法士・作業療法士・放射線技師・保健師を養成する医療系 4 年制大学である。これまでに約 4000 名の卒業生を輩出しており、約 6 割以上の卒業生が茨城県内の医療・介護施設に就職している。

また、2001 年には大学院修士課程、2010 年には大学院博士後期課程を設置し、高度医療人・教員・研究者などを輩出している。特徴的な研究としてはリハビリロボット HAL 研究の中核的機関として貢献している。

高度医療人材としては助産師、認定看護師（嚥下摂食障害）、専門看護師（老年、小児）や医学物理士などの養成も行っている、進歩する医療界のニーズに対応できる高度医療人の養成にも努めている。

また、医学部を有しない医療系大学としては唯一の大学付属病院（120 床）を有しており、小児リハ、難病リハ、回復期リハなどリハビリテーションに特化した施設として診療・教育・研究の場として利用されており、公的病院の使命として重度な治りにくい疾患のリハビリテーションを引き受け、県民の健康向上に努めている。

今後の少子化の中で優秀な学生を確保するとともに、高齢化に向かう県民の健康長寿に貢献するために看護・リハビリ・放射線の観点から予防的介入、早期診断などをキーワードとして特徴ある医療系大学をめざして発展していくことを目指している。



◆電子掲示板2台寄贈 土浦ロータリークラブ（RC、飯山孝之会長）は、土浦市にデジタルサイネージ（電子掲示板）を2台寄贈した。デジタルサイネージは55インチで、市立博物館と上高津員塚ふるさと歴史の広場で使用される。飯山会長と小倉忠義社会奉仕委員長、関本淳一幹事が同市大和町の市役所を訪れ、安藤真理子市長に目録を手渡した。

11月23日発行の茨城新聞に
デジタルサイネージ寄贈の記事が
掲載されました。



■写真。飯山会長は「市民のために幅広く活用していただけるとうれしい」と話し、安藤市長は「大変ありがた。有効に活用し、歴史と文化のまちとして市の魅力を発信していきたい」と感謝を述べた。



令和2年11月26日(木) ロープかすみがうら 2階例会

審議事項

- 1 2月第一例会、第二例会中止 の件
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1 2月第一例会（3日）、第二例会（10日）の開催を中止する

第 63 期 第 6 回 理事会報告

令和2年12月3日(木) 11:30 ~ ロープかすみがうら 3階

審議事項

- 1 2例会プログラム変更承認 の件
予定していた前記事業報告を書面（週報）にて行うこととした。
修正版プログラムで可決承認された。
- 2 1月例会プログラム承認 の件
原案どおり、可決承認された。
- 3 新会員入会承認 の件
古徳尚子さん、大塚芳行さん、田邊拓示さんの入会が承認された。
- 4 茨城県道心園 クリスマス寄付金 承認の件（例年5万円寄付）
例年通り、5万円を寄付することが可決承認された。
茲許の状況に鑑み、贈呈式等は行わない。贈呈方法については会長に一任する。
- 5 土浦商工会議所 新年賀詞交歓会 出席承認の件
飯山会長が出席することが可決承認された。
- 6 第64期理事・役員承認 の件
下記原案どおり、可決承認された。

会 長	鶴 田 一 郎
副 会 長（会長エレクト、会員組織委員長）	佐 藤 ぱうろ
直前会長（奉仕プロジェクト委員長）	飯 山 孝 之
理 事（クラブ管理運営委員長）	小 坂 博
理 事（職業奉仕委員長）	菊 池 泰 正
理 事（社会奉仕委員長）	原 田 博 夫
理 事（国際奉仕委員長）	廣 瀬 正
理 事（青少年奉仕委員長）	鈴 木 亮
理 事（ロータリー財団委員長）	山 本 和 男
理 事（米山記念奨学委員長）	高 木 博 昭
会 計	吉 田 明 浩
幹 事	中 島 賢 一

7. その他
例会の開催方法について、当面の間、感染リスクの高いと考えられる会食をなくし、手配したお弁当を持ち帰っていただくこととした。

第 63 期 持ち回り理事会 4 報告

令和2年12月14日(月) 電話・SNS等

審議事項

- 1 1 2月第三例会の件
新型コロナウイルス感染拡大の影響で土浦市への不要不急の外出自粛制限が、1 2月20日まで延長されたことに伴い、12月第三例会（17日）の開催を中止する

2020-21年度 1月のプログラム予定 職業奉仕月間

7日	理事会(7)	会長挨拶 「ロータリーの友」紹介	誕生祝	結婚記念祝	入会記念祝	丑年会員祝
14日	新会員卓話	橋本 祐一	会員			
21日	職業奉仕について	職業奉仕委員会				
28日	卓話「土浦のコロナ事情」	小原 芳道	会員			

前期事業報告

鶴田 一郎 会員組織委員長

1. 入会候補者紹介カードを作成し会員に配布した。
2. 職業分類表の検討をした。
3. ロータリーに関する情報を提供する機会を増やす様務めた。

コロナの影響で、ロータリーに興味がある入会希望者の募集、面会が困難さが見られた。

安藤 真理子 会員増強委員長

1. 入会候補者紹介カードを作成し会員に配布した。
2. 既存会員と入会推薦者のコミュニケーションに努めた。
3. 入会候補者紹介カードの様式等の検討を行った。

入会候補者紹介カードを会員に配布し、情報の取得に努めた為、転入希望者等の推薦がみられた。

円城寺紘征 職業分類・会員選考委員長

1. 職業分類表を作成し。充填・未充填を確認した。
2. 3名の推薦申込書を受領しは慎重に調査し理事会に報告した。
3. 新分野の職業分類を検討している。

磯 充 ロータリー情報委員長

1. 今年度は新入会員1名に対しオリエンテーションを行った、後期のスタートである1月には3名の新入会員が予定されていることから後期は大いに期待できると考えています
2. スター委員会の実施については、コロナ禍の状況にあり感染防止の観点から集合しての会合等、特に飲食は避けなければならない状況から、コロナの状況を見ながら会長の意見も踏まえて検討していきたいと考えています

佐藤 ばうろ クラブ管理運営委員長

出席、親睦活動、プログラム、クラブ会報、公共イメージの5委員会につき、新型コロナウイルス感染対策下でも活動を着実に進めてまいりました。

12月までの前期も、会員皆様やLAUBE様のご協力により、12月には休会も生じましたが、何とか例会を開催することができました。1月からの後期も、新型コロナウイルス感染対策により、通常通りの例会開催や、杯を交わしての親睦も難しい状況も想定されますが、各委員会の創意工夫により、限られた条件下でできるクラブ運営、交流・親睦のあり方を検討し、できることを実践していきたいと思っております。前期での会員皆様への感謝と、後期での引き続いてのご協力をお願い申し上げます、中間報告とします。

上村 毅 出席委員長

- ・ 7月～11月の5ヵ月累計の例会出席率は73%となっており、前年同期間と比べ6%アップの高い出席率となっています。
- ・ 7月～11月の各月とも出席率70%を超えており、第63期開始から継続して高い出席率を維持しております。

・出席委員会はメンバーの皆さまを笑顔でお出迎え、お見送りし、明るい雰囲気を作り出せるよう取り組んでおります。

・11月に前年度出席率100%会員20名を模範会員として表彰し賞賛しました。

新型コロナウイルスの影響による長期間の例会休止期間もあったことから、対面で例会ができることの意義を会員の皆様が感じていただき、今期は高い例会出席となっていると感じています。

一方、第三波の襲来により現時点で12月は3回の例会が休会となっており、今後の状況によりオンラインでの例会開催なども視野に入れ、出席の新たな定義を検討するなどニューノーマルへの対応も進めていく必要があると考えます。

引き続き、会員の皆様が気持ち良く例会に参加していただけるような雰囲気作りに努め、出席率が向上するよう取り組んでまいります。

白田恭士 親睦活動委員長

親睦活動委員会の上半期の事業報告としましては、コロナ禍の中の親睦活動を余儀なくされ、例年とは異なる活動となっております。昨年度入会の新入会員歓迎会が実施できない状況が続いており、7月にゴルフ同好会を開催いたしました。例会以外の親睦活動がなかなか実施できておりません。そんな中例会の出席率は昨年度と変わらない状況にあり、毎月の誕生祝等はほとんどの方にお渡しすることが出来ております。またその月の入会記念祝の方に1分程度のお話をいただく機会を作り、入会についてのエピソードを伺うことにより、会員間の親睦がより深まっております。第3波が訪れている昨今、下半期の活動も先が見えない状況ではありますが、引き続き例会の中での親睦活動を続けてまいりたいと思います。

菊池 泰正 クラブ会報委員長

コロナ禍の中のスタートでしたが、皆様の協力のもと、より身近に、より親しみやすくを感じていただけるような週報を発行しております。

12月は例会がお休みだったため、週報も休刊となりましたが、また通常どおり発行して行きます。

休会が長く続くような時には、以前のように臨時号の発行を考えております。

藤田 雪絵 公共イメージ委員長

・「ロータリーの友」を毎月会員に向け紹介し、ロータリーの理解を図った。

・会員企業メディアと茨城新聞社を通じて土浦RCの活動状況の発信を行う一環として以下の撮影および掲載を行った。

7/31 茨城新聞掲載（7/29消毒用アルコールと10万円を寄贈）

11/3 茨城新聞土浦市市制80周年記念号に広告掲載

11/13 茨城新聞掲載（11/3 土浦市立博物館前におけるポリオ撲滅募金活動）

11/2 茨城新聞掲載（11/19 土浦市立博物館及び上高津貝塚ふるさと歴史の広場へデジタルサイネージ寄贈）

紙面の都合上掲載できなかった委員会は次回号に掲載致します

事務局からのお知らせ 1月の出勤予定は

5(火)、6(水)、7(木)、8(金)、13(水)、14(木)、18(月)、20(水)、21(木)、25(月)、27(水)、28(木)の予定です。

12月3日、10日、17日の週報表紙掲載予定だったミュージアムコレクションをここに掲載いたします。



土浦ミュージアムコレクション No.19
製塩土器

上高津貝塚(上高津)で出土した縄文時代晩期の土器です。薄手の作りで飾りがなく、底が尖っているのが特徴で、海水から塩をとる土器製塩のために作られた専用の土器です。完全な形で残っているのは大変珍しいです。
〈上高津貝塚ふるさと歴史の広場蔵〉



土浦ミュージアムコレクション No.20
糸を紡ぐ道具「紡垂車」(弥生時代 3世紀)

紡垂車は植物の繊維などから糸をつくる道具です。市内の弥生時代の遺跡から多量に発見されており、当時、布生産が盛んであったことが伺えます。
〈上高津貝塚ふるさと歴史の広場蔵〉



土浦ミュージアムコレクション No.21
古代の玉作り(古墳時代 4世紀)【土浦市指定文化財】

烏山やおおつ野の遺跡から、勾玉(まがたま)などの玉類を製作した工房跡が発見されています。メノウ製勾玉の工房跡としては日本最古級のもです。
〈上高津貝塚ふるさと歴史の広場蔵〉

ここにBOX

11/26 70,000円 累計1,161,000円

メイクアップ

- 11/19 指名委員会 山本
- 11/21 2020-21年度RIローターアクト第2回第1エリア代表者会議 沼尻
- 11/21 RI2820地区ローターアクト2020-21年度第2回会長・幹事会 沼尻

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
55名	23名	32名	3名	61.53

例会予告

- 12月31日 休会
- 1月7日 理事会(7) 会長挨拶 「ロータリーの友」紹介
誕生祝 結婚記念祝 入会記念祝 丑年会員祝

12月のロータリーレートは105円です。